



第2次 村上市立小・中学校 望ましい教育環境整備計画方針

概要版

資料 3

郷育（さといく）の まち・村上

令和6年 3月作成
村上市教育委員会

村上市が目指す子どもの姿

「郷に生きている」ことに自信と誇りを持ち、自らの進路を切り拓いていくことのできる実力（知力・気力・体力・徳性）を備えた子ども

目指す子どもの姿に向けた施策

地域と連携した 教育の推進

- 子どもたちの成長を地域で支える体制づくり
- 郷土愛を育む特色ある学びへの支援
- 安全教育の推進
- 幼保小中連携事業の推進
- 自らの生き方を考え、社会の変化や課題に対応できる学びへの支援

学ぶ意欲と 確かな学力の向上

- 基礎・基本を身に付ける教育の推進
- 高度情報化に対応した教育の推進
- グローバル化に対応した教育の推進
- 家庭学習習慣の定着



豊かな心と 健やかな体の育成

- いのちと心に関する学びへの支援
- 不登校、非行等への対応
- 体力、健康づくりの推進
- 中学校部活動の環境整備
- 文化芸術活動等の推進
- 人権教育、同和教育の推進

誰もが安心して学べ る環境づくりの推進

- 教育の機会均等を図る事業の推進
- 特別な支援を要する児童生徒への支援体制の充実



望ましい 教育環境の整備

- 安全・安心な学校施設の整備充実
- 安全対策の推進
- 望ましい教育環境の検討会議

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※村上市では、SDGsの目標や方向性を考慮しながら
望ましい教育環境の整備を進めてまいります。

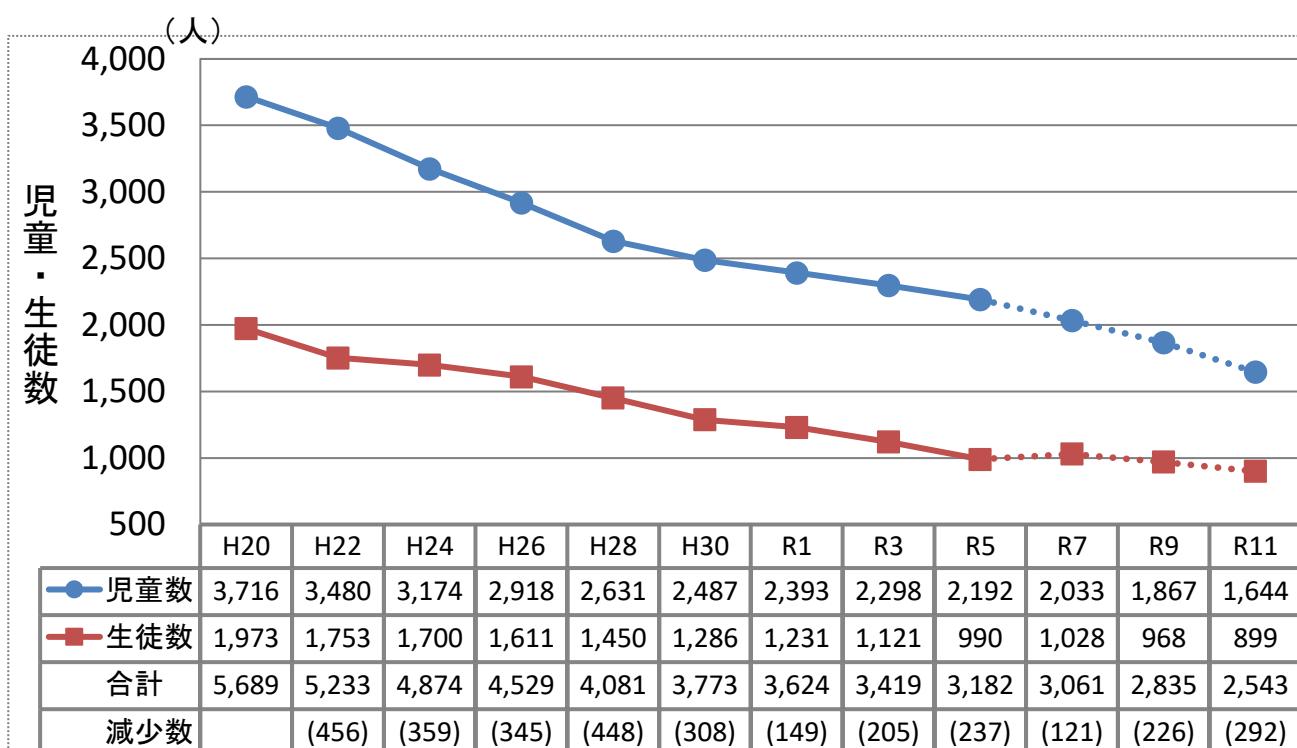
村上市では、「郷育(さといく)のまち・村上」に位置付けられた学校教育を推進するため、平成31年度、令和2年度に、市内15の小中学校が関わる学校統合を実施し、子どもたちにとって望ましい教育環境整備に努めてきました。

しかしながら、その後も児童生徒数の減少により、学校が小規模化し、その流れは今後も続くと想定されます。これに加え、施設設備が老朽化している学校も多くあり、児童生徒数の減少を見極めながら、学校施設の改修という面にも目を向ける必要があります。

このパンフレットは、「第2次村上市立小・中学校望ましい教育環境整備計画方針」をもとに、市民の皆さんに望ましい教育環境や学校統合について理解を深めていただくために作成いたしました。

I 村上市立小・中学校の現状

村上市の児童・生徒数の推移と今後の推計



全国的な少子化の傾向と同様に、本市の児童生徒数は年々減少を続け、新村上市誕生当初の平成20年度には5,689人でしたが、平成30年度には3,773人となり、令和5年度には3,182人と、この5年間でさらに591人減少しております（学校基本調査より）。

また、令和11年度には2,543人（小学校児童1,644人、中学校生徒899人）と推計され、各学校の児童生徒数も年々減少していくと想定されます。

さらに、小学校児童数の減少は、今後の中学校生徒数の減少に反映されるものと想定されます。なお、令和7年度以降の生徒数には村上中等教育学校への入学予定者数を考慮しています。

学校施設の老朽化の現状

【築年数】

50年以上…2校 40年以上…6校 30年以上…5校
20年以上…6校 10年以上…1校

Ⅱ 望ましい教育環境に関する考え方

望ましい教育環境とは

子どもたちにとって学校は、確かな学力・たくましく生きるための体力を身に付けるとともに、自分とは違ういろいろな個性に出会い、多様な考えに触れ、豊かな集団性・社会性を育むことができる環境であることが望ましいと考えます。

望ましい学校規模とは

【小学校】

○1学年2学級の通常学級12学級を目安とします。「地域とのつながり」に重点をおき、1学年1学級20人以上の通常学級6学級以上の規模を基準とします。

【中学校】

○1学年2学級の通常学級6学級以上の規模を基準とします。

○なお、地理的条件、地域とのつながりから1学年2学級が実現できない場合は、1学級20人以上になることを基準とします。

学校施設整備の在り方

施設設備が老朽化している学校が多くあり、改修が遅れるほど校舎等の劣化は進み、児童生徒の学習の場、生活の場として安心・安全な環境は困難になります。また、より衛生的な最新の設備を要した学校給食調理場の確保も急務です。

財政負担の軽減を図りつつ、学校施設設備の改修を加速させるためにも、望ましい学校規模と関連させながら、学校再編に取り組んでいく必要があります。

学校統合の構想

○学年単学級の小規模校のうち、全ての学年で1学年20人以上を満たすことのできない学校については、隣接校の状況を加味した上で統合を進めます。特に複式学級の発生が予想される学校については、早急に統合を進めます。

○現在、学年複数学級ある学校においても、将来の小規模化を見通したり、統合校として使用する校舎のキャパシティーを考慮したり、学校施設の改修の在り方を踏まえたりしながら、適切な時期に、隣接校との学校統合を進めます。

○旧市町村を越えた学校統合や、地域に1小学校1中学校しかなく、隣接校が遠方の場合は、小中連携校としての統合も検討してまいります。

小学校の学級数・児童数の推移（R5～R11見込み）

6年後の令和11年度までの小学校の学校規模の見通しは、次の表の示すとおりです。

小学校名			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
1	村上	学級数	10	10	11	11	11	10	9	
		児童数	243	243	243	239	236	221	200	
2	村上南	学級数	11	11	10	10	11	11	10	
		児童数	291	285	257	247	246	233	214	
3	岩船	学級数	6	6	6	6	6	6	6	
		児童数	128	122	116	107	109	106	97	
4	瀬波	学級数	8	8	7	7	7	7	6	
		児童数	222	219	206	192	182	173	167	
5	山辺里	学級数	6	6	6	6	6	6	6	
		児童数	175	180	182	178	173	159	164	
6	保内	学級数	12	12	11	10	10	9	8	
		児童数	328	317	294	265	247	230	216	
7	金屋	学級数	6	6	6	6	6	6	6	
		児童数	86	78	80	78	75	71	64	
8	平林	学級数	6	6	6	6	6	6	6	
		児童数	128	116	112	105	93	88	81	
9	神納	学級数	7	8	7	8	8	8	8	
		児童数	195	206	194	203	193	189	174	
10	小川	学級数	6	6	6	6	5	5	5	
		児童数	105	97	87	73	69	58	56	
11	朝日みどり	学級数	6	5	5	5	6	6	5	
		児童数	61	61	59	57	59	61	53	
12	朝日さくら	学級数	6	6	6	6	6	6	6	
		児童数	103	99	94	94	86	87	74	
13	さんぽく	学級数	6	6	6	6	6	6	6	
		児童数	127	124	109	106	99	88	84	
計		学級数	96	96	93	93	94	92	87	
		児童数	2,192	2,147	2,033	1,944	1,867	1,764	1,644	

中学校の学級数・生徒数の推移（R5～R17見込み）

12年後の令和17年度までの中学校の学校規模の見通しは、次の表の示すとおりです。

中学校名			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
1	村上第一	学級数	8	7	8	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	
		生徒数	220	220	264	269	262	248	244	242	215	195	186	191	186	
2	村上東	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
		生徒数	177	191	192	201	199	211	217	224	214	200	185	166	164	
3	岩船	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
		生徒数	45	54	65	67	70	66	61	52	50	46	57	56	51	
4	荒川	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	4	
		生徒数	189	208	205	219	219	213	195	176	161	148	146	140	132	
5	神林	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	
		生徒数	159	168	181	169	166	155	154	156	151	154	130	126	101	
6	朝日	学級数	6	6	6	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
		生徒数	135	145	154	148	136	122	121	121	118	103	93	88	80	
7	山北	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
		生徒数	65	69	67	70	66	55	57	58	54	49	41	34	35	
計		学級数	38	37	38	36	35	33	33	33	33	32	31	29		
		生徒数	990	1,055	1,128	1,143	1,118	1,070	1,049	1,029	963	895	838	801	749	

Ⅲ 具体的な学校統合計画

学校統合計画策定までの経緯



本整備計画方針を策定するにあたり、7つの中学校区ごとに各3回ずつ「意見を伺う会」を開催するとともに、保護者を対象に2度にわたりWebアンケートを実施し様々な意見をいたいただいております。

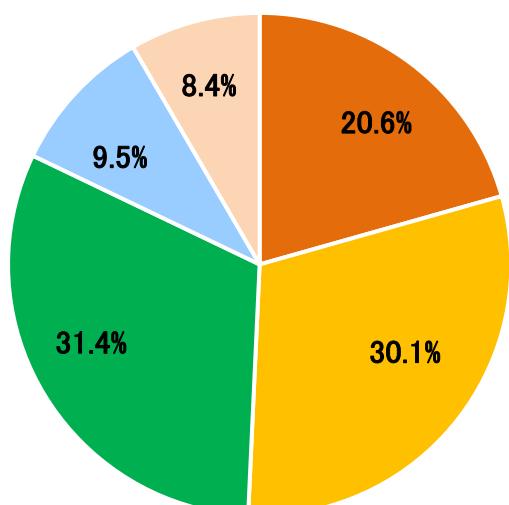
学校統合（案）に関する賛否

学校統合（案）に関する賛否を問う第2回保護者アンケートの結果

対象：小中学校の全保護者、保育園等の全保護者約2,900世帯

期間：令和5年11月2日から11月26日まで

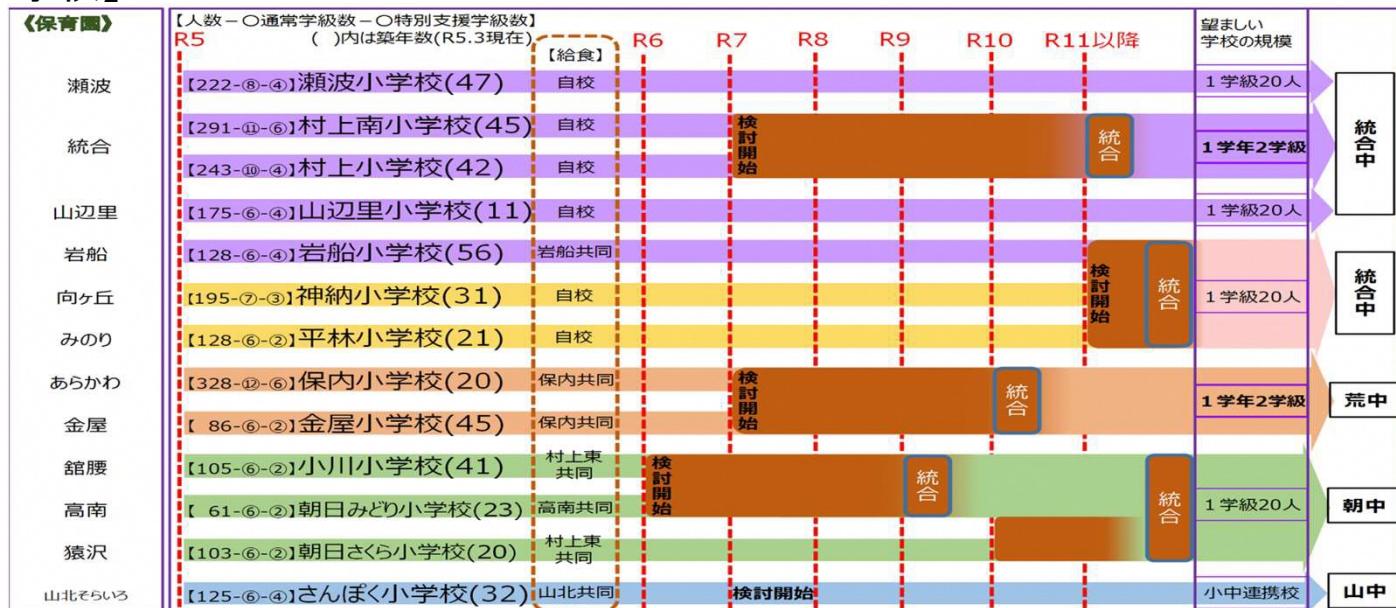
回答数：548件(約18.9%)



凡例	区分	件数	回答率
賛成	賛成	113	20.6%
どちらかといえば賛成	どちらかといえば賛成	165	30.1%
どちらともいえない	どちらともいえない	172	31.4%
どちらかといえば反対	どちらかといえば反対	52	9.5%
反対	反対	46	8.4%
	合計	548	100.0%

村上市立小・中学校統合計画

【小学校】



【中学校】



IV 学校統合にあたり留意すべきこと

- 学校統合にあたっては、地域の合意形成に十分努めます。市内の多くの地域においては、平成31年度、令和2年度の学校統合から日は浅く、短期間で再度学校統合が繰り返されることに理解は得づらいことも予想されます。保護者や地域住民の理解や協力を得ながら、丁寧かつ慎重に協議を進めます。
- 旧市町村を越えた学校統合や小中連携校について理解を得ていきます。
- 学校施設の改修という面など、広い視野でよりよい方向性を目指すための学校統合であることの理解を得ていきます。
- 学校統合にあたっては、学校給食の提供、スクールバス運行等、児童生徒の安心・安全な学校生活を支える環境整備に努めます。

お問い合わせ 村上市教育委員会 学校教育課

〒958-0292 新潟県村上市岩沢5611番地

Tel0254-72-6882 Fax0254-72-6403

E-mail gakko@city.murakami.lg.jp